



次のステージへ・・・病床再編成

「回復期リハ病床」増床へ

→→→ 療養病床は減床

前号でもお伝えしましたが、我が国では来る超高齢社会に向けて、「医療介護総合確保推進法」等の下、病床機能の分化・強化、連携や医療・介護の一体的な基盤整備が進められています。県下の各医療圏においては病床機能分化・連携の推進、在宅医療・地域包括ケアシステムの充実、医療・介護従事者の確保・養成による将来（2025年）に向けた地域医療構想の検討がすすめられています。この中において当院は、創立30周年を機にした病院の質改善事業に取り組み、病床の一部機能転換、増改築による医療療養環境の改善・充実、電子カルテ等ICT技術の導入、医療機器整備等を行い、医療環境の変化への対応を進めてきました。そして今般、今日まで回復期リハビリテーション医療を核とする総合的な医療の提供を行ってきましたが、その方向を踏襲しつつ、更に回復期医療機能の充実を図り、急性期の医療、在宅療養とのいっそうの連携を深めるために、病床機能の再編成を行うことといたしました。具体的には慢性期医療を提供する療養病床が現在100床ありますが、この内50床を回復期リハビリテーション病床に転換いたします。これにより当院の病床編成は回復期リハビリテーション病床が130床、療養病床が50床になります。運用開始は来年2月を予定しています。

ご理解とご協力、よろしくお願ひいたします。

【「回復期医療機能」とは・・・】

- ・急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能
- ・特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）

第10回いきいき健康教室

琵琶湖中央病院からのメッセージ

「いつまでも生き生き、いつまでも若々しく」

～当院の医師、看護師、セラピスト、

管理栄養士が“そのこつ”お話しします～

■みんなで元気にロコモ体操

■ささやかに・・・

お茶とケーキでクリスマスパーティー

■健康相談もお気軽に

日時：12月24日（木） 13：30～

場所：D棟5階地域研修センター

募集定員 先着70名さままで

お申込みは総合受付まで



★在宅療養を支える仲間のための勉強会★

「高齢者に多い疾患の特徴について」

講師：高橋 伯夫 院長

日時：12月3日（木） 15：30～

場所：D棟5階地域研修センター

参加申し込み：居宅介護支援事業所まで



もの忘れ予防講座

院長 高橋 伯夫

年齢がゆくとともにもの忘れの度合いが強くなり、認知症ではないかと不安になりますね。最近では、高血圧のような生活習慣病を適切に治療することでアルツハイマー病を代表とする種々の認知症の進行を抑えられることが明らかになりました。生活習慣病は血管を老化させます。脳は、血管が最も豊富に分布する臓器のひとつですから、血管の老化を防げば認知症になりにくくなるストーリーは理解しやすいと思います。これらのメカニズムと治療についてお話しします。

日時：11月28日（土） 14：00～

場所：大津市膳所市民センター